

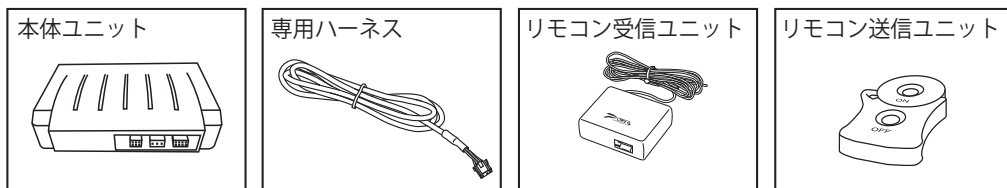
イージーLOCK

POWER
POWER ENTERPRISE Co., Ltd.

エンジンをかけたまま「ちょっと買い物」も安心！

取扱説明書

パーツ一覧

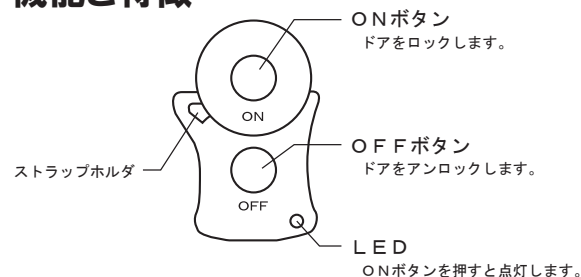


車種によっては付属配線の長さが足りない場合があります。
その場合は、同程度の太さのケーブルをご用意の上、延長してください。

はじめにお読みください

- 取扱説明書をよく読み、機能を十分に理解した上でご使用ください。
- 取付け作業は、熟練の方が行ってください。
- 使用前の動作確認を入念に行い、その後も定期的に動作確認をしてください。
- 製品の機能を理解していない方が操作しないよう、十分に注意してください。
- 動作の不具合を発見したときは、直ちに使用を中止して販売店にご相談ください。
- 本来の用途以外の使用、製品の分解、改造を行った場合、何らかの不具合が生じても弊社では一切の責任を負いかねます。
- 本製品を使用しての事故や車両故障、破損、違法行為などにつきまして、弊社では一切の責任を負いかねます。
- 商品の外観、仕様、価格等は予告なく変更する場合があります。

機能と特徴



- エンジンの作動中・停止中に関わらずドアのロック/アンロックができます。
- 車内・車外に関係なく使用できます。
有効距離は車からおおよそ5m程度です。
※条件により異なります。



このリモコンでロック/アンロックした場合、純正のウィンカーのアンサーバックは機能しません。

取付け/配線

- 1 バッテリーのマイナス端子を取外してください。
- 2 ロック信号 / アンロック信号の検出



ロック/アンロック信号線はコントロールユニット(運転席周りあることが多い)やドア内からとれます。
事前に整備資料などである程度の位置を把握しておいてください。

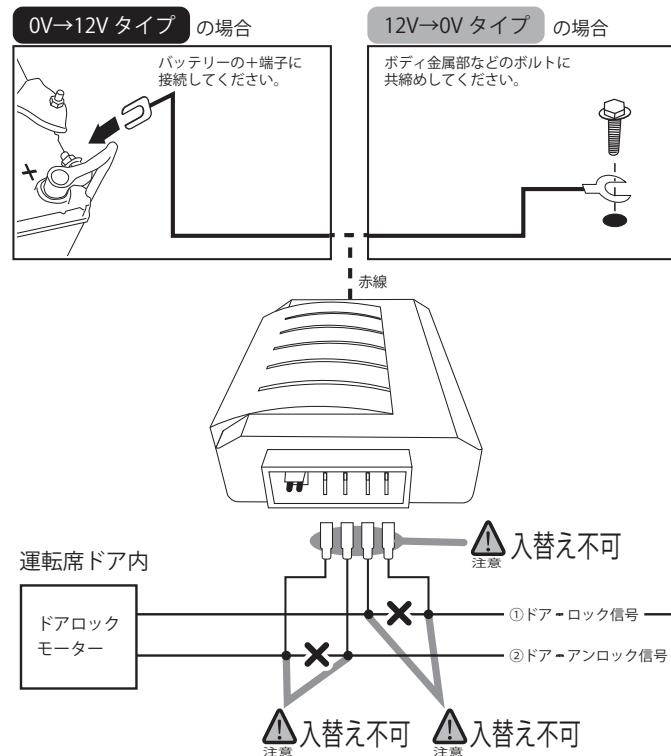
テスターなどを使用し、純正リモコンを操作しながら以下の①②の線を探してください。

- ① ドア・ロック信号線： 普段 0V で、ロック操作時に一時的に (※)12V になる線 **0V→12V タイプ**
または、
普段 12V で、ロック操作時に一時的に (※)0V になる線 **12V→0V タイプ**
- ② ドア・アンロック信号線： 普段 0V で、アンロック操作時に一時的に (※)12V になる線 **0V→12V タイプ**
または、
普段 12V で、アンロック操作時に一時的に (※)0V になる線 **12V→0V タイプ**

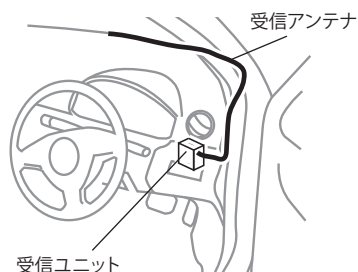


(※) 一時的とは、約0.5秒間です。
0V→12Vタイプと12V→0Vタイプでこの後の取付け方法が異なりますので覚えておいてください。
例えばロックが0V→12Vタイプの場合、アンロックも必ず0V→12Vです。結果が異なる場合は探しなおしてください。

- 3 ロック信号 / アンロック信号線の接続

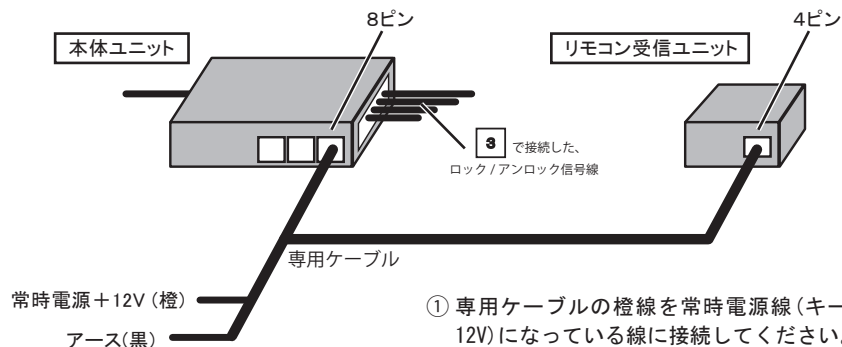


4 リモコン受信ユニットの取付け



- ① リモコン受信ユニットをダッシュボードの内側などに固定してください。
- ② 受信ユニットのアンテナ(白色線)を、左図のようにフロントガラスの辺りまで引き伸ばしてください。
- ③ ケーブルのコネクタ(4ピン)を受信ユニットに接続してください。

5 本体ユニットの取付け



- ① 専用ケーブルの橙線を常時電源線(キーOFFでも12V)になっている線に接続してください。
- ② 専用ケーブルの黒線をアース(ボディの金属部など)に接続してください。
- ③ 専用ケーブルの8ピンコネクタを本体ユニットに接続してください。
- ④ 専用ケーブルの4ピンコネクタをリモコン受信ユニットに接続してください。

6 バッテリーのマイナス端子を取付けてください。

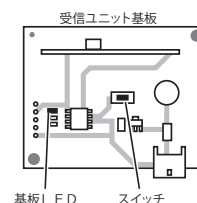
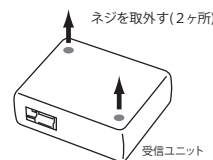
7 動作確認

窓を全開にしてドアを閉めてください。

- ① 純正のリモコンを操作して、ドアをロック/アンロックできることを実際にドアノブを引いて確認してください。
- ② 車外からイージーロックのリモコンを操作してドアをロック/アンロックできることを実際にドアノブを引いて確認してください。

リモコン送信ユニットの追加

1つのイージーロックを、複数のリモコン送信ユニットで使用することができます。リモコン送信ユニットを追加した場合は、最初に以下のペアリング作業を行ってください。

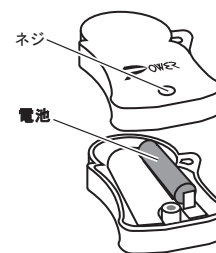


- ① 受信ユニットの4ピンコネクタを一度取外し、受信ユニットのネジ2ヶ所を取外してケースを分解してください。
 - ② ケースを開けたまま、受信ユニットに4ピンコネクタを再接続してください。
 - ③ 受信ユニット基板のスイッチ(左図)を1回押してください。基板のLEDが1回だけ点滅します。
 - ④ 8秒以内に、追加するリモコンのONボタンとOFFボタンを1回ずつ押してください。
 - ⑤ 受信ユニット基板のスイッチを1回、押してください。基板のLEDが2回点滅します。
- ※ これでペアリング作業は終了です。
さらに追加するリモコンがある場合は、③～⑤の作業を繰り返してください。



イージーロックに付属のリモコンはすでにペアリングが完了しています。

リモコン送信ユニットの電池交換



交換電池:12Vアルカリ乾電池 品番:27A

※直径7mm、長さ28mmの電池をご選択ください。

- ① リモコン裏側のネジ1個を取外してください。
- ② リモコンを裏向きにしたまま、裏側ケースをゆっくりと持ち上げてください。
- ③ 消耗した電池を新品に交換してください。
- ④ 裏側ケースを元通り取付け、ネジで固定してください。



リモコン送信ユニットの電池は、使用頻度にもよりますが1～2年の寿命です。リモコンの感度が悪くなったと感じたら、リモコンの電池を交換してみてください。

当電池は一般の家電量販店やカー用品店では取り扱いされていない場合があります。リモコンエンジンスターター用のリモコン電池としてインターネットショッピングで検索するか、当社までお問合せください。